

3. 毛虫皮膚炎 caterpillar dermatitis

いわゆる“毛虫”のうち、毒性をもつものは全体の約2%である。ドクガ、チャドクガ、モンシロドクガなどの幼虫（毛虫）の毒針毛が皮膚に刺さることで生じる。これらの虫の成体に触れた時も、幼虫時の毒針毛が残存しており、皮膚炎を発症することがある（毒蛾皮膚炎）。卵にも毒針毛が付着している。また、毒針毛は空中に散布されることがあり、屋外作業中に気づかないまま発症することも多い。イラガなどは毒針毛をもたないが、毒棘を有しており、触れると毒液が注入されて同じように発症する。患部がチクチクと痛み、瘙痒を伴う点状紅斑が出現した後に小水疱や丘疹を生じる（図28.2）。集簇したり列序性にみられることもある。擦らずに水で洗い流すか、テープなどで毒針毛を除去し、ステロイド外用などを行う。

4. 線状皮膚炎 dermatitis linearis, linear dermatitis

アオバアリガタハネカクシ *Paederus fuscipes* (Curtis) (図28.3) を払いのけようと虫体を潰した際に、体液が付着して発症する。アオバアリガタハネカクシはほぼ日本全土に生息し、体長約7mmで水田などに棲む。接触後2～3時間で、灼熱感を伴う線状の特徴的な紅斑を認め（図28.4）、小水疱、腫脹、びらん、潰瘍なども生じる。原因物質はペデリン (pederin) とされる。約2週間で色素沈着を残して治癒する。

5. シラミ症 pediculosis

定義・分類

シラミがヒトに寄生し、吸血することでアレルギー反応を生じ、著しい瘙痒をきたす疾患である。ヒトに寄生するシラミは、頭髮に寄生するアタマジラミ *Pediculus humanus capitis* (体長2～4mm, 図28.5)、衣服に寄生するコロモジラミ *Pediculus humanus humanus* (体長2～4mm)、陰毛に寄生するケジラミ *Phthirus pubis* (体長1mm, 図28.6) の3種類である。アタマジラミとコロモジラミは外見では区別できない。また、コロモジラミが媒介する感染症として発疹チフス (epidemic typhus) などがある。

症状

寄生したシラミは毛に卵を産み、それが約1週間で孵化し、約3週間で成虫になり、1日3～5個の卵を産むとされる。吸

図28.1② 虫刺症 (insect bite)
腹部および下肢に多発する約5mm大の瘙痒性小丘疹。

図28.2 毛虫皮膚炎 (caterpillar dermatitis)
瘙痒を伴う紅斑と丘疹。



図28.3 アオバアリガタハネカクシ *Paederus fuscipes* (Curtis)

ようそ
蠅蛆症 (myiasis)

MEMO

うじ
蛆治療 (マゴットセラピー)

MEMO

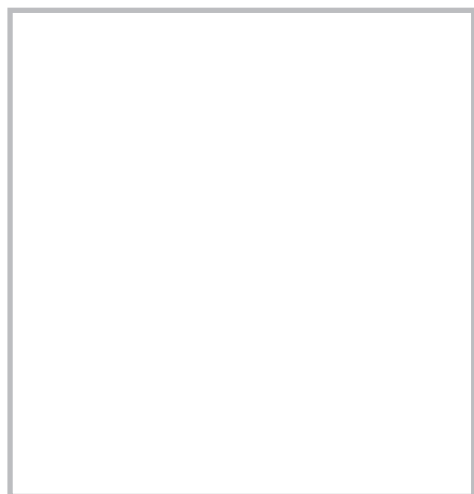


図 28.4 線状皮膚炎 (dermatitis linearis)

図 28.5 アタマジラミ *Pediculus humanus capitis*図 28.6 ケジラミ *Phthirus pubis*
a: 成体. b: 卵. 陰毛に付着している.

血によりアレルギー反応を生じ、瘙痒をきたす。シラミに接触して1～2か月後に発症する。明らかな皮疹を欠くことが多い。

病因

シラミの直接接触によるが、アタマジラミは学校などの共同生活により学童間で流行することがある。ケジラミは主に性行為によって感染する STI の一種であり、^{びもう}眉毛や^{しょうもう}睫毛に寄生することもある。コロモジラミは不衛生な環境下で生じることが多い。

診断・治療

頭部、陰部の瘙痒を主訴に受診した場合、本症の可能性も考慮し、毛に付着する虫体や卵の有無を確認することが重要である。治療にはフェノトリンシャンプー（パウダー）を用いるが、卵には無効であり、また近年は耐性種も確認されている。ピンポン感染を防ぐため家族やパートナーにも治療を行う。卵や虫体を除去する櫛や、剃毛を行うこともある。コロモジラミは毎日入浴し、下着や衣類を毎回交換、洗濯していれば駆除される。

6. 疥癬 ^{かいせん} scabies ★

Essence

- ヒトヒゼンダニ（疥癬虫）による。多発性小丘疹を形成、きわめて瘙痒が強く、とくに夜間に激しい。
- 陰部や体幹、指間部などに好発。とくに指間部などに疥癬トンネルを形成する。
- 寝具などを介しても感染する。性感染症や院内感染として発症することが多い。
- 治療はイベルメクチン内服、フェノトリン外用など。

症状

体幹や陰部、大腿および上腕内側、指間部といった皮膚の軟らかい部位に、2～5 mm 大の淡紅色小丘疹が多発する（図 28.7）。陰部や腋窩では小結節を形成する場合がある。いずれの皮疹もきわめて強い瘙痒があり、就寝時に暖まるととくに瘙痒が強くなる。瘙痒のため不眠を訴えることが多く、掻破して非特異的な湿疹性病変を呈する場合もある。指間部や手掌には、長さ数 mm のわずかに盛り上がった灰白色の線状皮疹がみられ、これを疥癬トンネル（mite burrow）と呼ぶ。ここに雌成虫が潜んで卵を産みつけている。水疱形成をみることもある（図 28.7d, e）。また、爪に寄生することがあり、爪白癬に類似し